

2019.12.17

この人に、こんな幼児体験

理事長 渥美雅子

少年は毎日の様に父に殴られ鞭打たれた。理由などない。真冬に戸外に4時間立たされたこともあった。北緯50度の冬は寒い。さすがにこの時だけは母が「もういいでしょう」と父を諫めてくれた。それ以外はない。11才の頃、耐えがたい状況から逃れるため、家出を企てたが、見つかって死ぬほど打擲された。この時も母は止めてくれなかった。

耳を塞いで屋根裏へ逃げただけだ。

長じて少年は一国の大統領になった。そして戦争を起こし、600万人を殺した。

心の中に長く蓄積されてきた屈辱感、不信感、恐怖、復讐、何もかもがひとつの出口を求めてひしめきあっていた。少年の名はアドルフ・ヒットラー。



- DV 基金の講演会報告 DV/虐待加害者の暴力克服をめざして . . . P2
- 役員室より . . . P3

2020 年度支援団体募集します

DV 被害者支援団体を助成金で応援します

総額 50 万円（上限 1 団体 20 万円）

令和 2 年 2 月 応募期間

令和 2 年 3 月 ヒアリング・内定

令和 2 年 6 月 開催予定の総会にて承認後支出執行

《要項・応募書式》

ホームページからダウンロード可

URL/[http:// dvkikinn.a.la9.jp/](http://dvkikinn.a.la9.jp/)

(2016URL 変更)

問い合わせ:

Tel: 043(441)6014

または 090-7907-7339

mail:dvkikinn@nifty.com

	2019 支援団体名	助成金額	支援内容
1	NPO 法人 ウィメンズウィングちば	16 万 5 千円	デート DV 防止 キャンペーン費用

DV/虐待加害者の暴力克服をめざして

～DV 加害者カウンセリングの試み～



令和元年 11 月 30 日（土）静岡県より松林三樹夫先生に講師として来ていただき、千葉市生涯学習センター地下ホールにて 40 名ほどの参加者を得て開催されました。去る 10 月 12 日豪雨予報のため一度は中止となりましたが渥美理事長の熱い想いと皆様のご協

力で年内再調整の運びとなりました。

講師の松林三樹夫先生は中学校で社会科の教鞭をとられていました。歴史の授業で戦争のこと等を教える一方で、今の日本を見た時に、家庭の中で、社会の中で、人が人を傷つけたり、殺したりという戦場に近い状況にあることに気づいたと言います。後を絶たない児童虐待、DV 被害の多さ、社会での暴力事件等々、今の日本は形を変えた戦争状態が続いていると・・・。

加害者の話に耳を傾けると、暴力行為を自分では止められなくてエスカレートしてしまった人がいる。警察に拘留され、暴力をすることになった原因を問われ、自分も幼い時に暴力を振るわれてきたからと言うと、「もう大人なんだから、いい加減親のせいにするのはやめなさい」などとたしなめられ封じられてしまう。松林さんは、加害者にどうして暴力を振るうようになったかを問い、「自分がどういう経過で、DV や虐待の加害者になったのか、その物語が明らかになった時、人は徐々に回復していくのではないだろうか」と言う。

そのためには心の中にため込んできた怒りや哀しみを十分に吐き出させることが大切で、松林先生のカウンセリングルームでは、「エンティチエア」のやり方で、ダンボールの人形を相手にその怒りを吐き出させたりする。ボロボロになったダンボールの人形をみると、その怒りの凄まじさがよくわかるし、先生が真剣にその人と向き合っておられる様子も伝わってきた。

思いを吐き出すことは相談者も痛みを伴うが、自分の親などにされた暴力に対する怒りや悲しみを心の中に封印をしたままでは、新しい生き方をプログラミングすることはできない。

自分の子どもを叩く時もどんな風なのか、それも子どもに見立てたクッション相手に再現してもらおう。そして、その激しい怒りの奥に本当は誰への怒りなのかを探っていくと、本当は子どもへの怒りではなかったことがわかる。相談員が相談者に真剣に根気強く向き合う力がなければ、相談者（加害者）も心の内を吐き出すところまでは及ばない。

後半は、柔らかい関係作りに向けての話があり、その中の「～用語翻訳器」などは、誰にも使えるし、誰もが使いたい楽しいものだと思います。

この日のイベントの様子がその日の夕方の NHK ニュースで放送されました。「ひとりひとりが被害者にも加害者にも優しい社会になってほしい」と参加者の声がありました。(M)

*松林三樹夫先生のカウンセリングの様子は、2019 年 11 月 26 日（火）のクローズアップ現代でも放送されました。

*松林三樹夫先生の著書：立ち直りへの道～DV 加害者カウンセリングの試み～

DV 加害者が更生しない限り DV はなくなる（2019. 8 月刊行エイデル研究所）

【役員室より】

「加害者が暴力を克服して被害者を減らす」



金田 真美

このたび「DV基金」の活動に携わる機会を頂き、たいへん感謝しております。

私たちはみな、愛情深い強い絆に結ばれた家族を作りたいと願って頑張っているのだと思います。ただ、この「愛の絆」というのが曲者で、実はそこに「相手への依存」があったり、「過大な期待」があったり、無償の愛ではないものが混ざり込んでしまいます。

また、育ってきた環境が違うのですから、「当たり前」の価値観も当然に違います。しかし「皆そうだろう」と思っている人は、自分にとって当然の結果が相手から得られなければ、驚いて怒りを感じます。さらに、「男(女)ならこうあるべき」といったジェンダーバイアスが強いと自分をコケにされたように感じ、怒りを暴力という「男性らしさ」で表すことになるのだそうです。言葉の流暢な妻に口ではかなわない時も、てっとり早く手をあげてしまうのではないのでしょうか。

離婚調停でもDV加害当事者が「私は正しいことを教えてやっているんだ」と言うのをよく聞きます。相手を傷つけていること、自分の思い通りにしようとしていることには気づかないようです。ですから、松林三樹夫先生の「加害者更生のためのカウンセリング」は、たいへん重要な活動であると思います。勝ち負けではなく相互の尊敬・信頼が根底になれば、互いの違いを認め合うことはできません。相手を認め思いやりのある自己表現の仕方を「学ぶ場」がさらに増えていくことを期待します。

《ジェンダー研修 3回連続セミナー》

ジェンダー平等はどこまで進んだのか
—できたこと・できてないこと—

女性差別撤廃条約締結から40年
男女共同参画社会基本法から20年
世界はジェンダー平等に向かっているのに
日本の女性の地位は110位

第3回(最終回)2020年1月22日(水)
会場:船橋市勤労市民センター
テーマ“ジェンダー平等に必要なこと”

講師:船橋邦子
NPO法人女性と子どものスペース・ニコ代表
元和光大学教授

主催:DV防止サポートネットちば
問合せ:dvchiba@gmail.com
TEL 080-3023-6584

—DVサポートネットちば—
NPO法人ウィメンズ・ウィングちば
NPO法人ウィメンズ・カウンセリングちば
NPO法人カウンセリング研究会ワールド
NPO法人女性と子どものスペース・ニコ
のだフレンドシップ青い鳥
notice

いい言葉
やさしい言葉
納得のいく言葉

いやな言葉
きつい言葉
納得できない言葉

妻(夫)用語翻訳器

そのまま素直に受け止める
ちゃんと聞く
まじめに受け取る
真に受ける

聞き流す、受け流す
しようがないな—
何を言いたいんだろう?
負けて勝つ、負けるが勝ち
真に受けない

松林三樹夫先生からのプレゼントです
～いつでもどこでも使えます～
〇〇用語翻訳器

DV をなくそう！あなたの力で一歩ずつ

DV 撲滅のため 皆様のご理解とご協力が大切です。皆様のご寄附で DV 撲滅へ一歩ずつ！ 当法人は認定 NPO を取得致しました。認定されたことにより皆様のご寄附下さる場合、寄付金相当額の一部が税金控除の対象になります。

期間は、令和元年 7 月 23 日から令和 6 年 7 月 22 日の 5 年間です。

払込口座は、ゆうちょ銀行払込口座：00170-3-583758

口座名：DV 被害者支援活動促進のための基金



NO！！DV

DV のない社会づくりを進めましょう
DV 被害者支援活動促進のための基金は
皆様のあたたかい心に支えられています。

団体会員・個人会員募集中

DV 基金の趣旨に賛同し、広く理解と協力の輪を広げる会員を募集しています。

個人会員 年会費 3,000 円

団体会員 年会費 10,000 円

《会費・寄付金は下記の払込先へお願いいたします》

DV 被害者支援活動促進のための基金

ゆうちょ銀行払込口座：00170-3-583758

◆ 寄付金総額 360.200 円
個人会員数 97 名
団体会員数 9 団体
(2019.10.末現在)

◆ 今後の理事会の予定

・令和 2 年 1 月 20 日(月)

令和 2 年 3 月 16 日(月)

令和 2 年 5 月 18 日(月)

定例理事会：原則奇数月第三月曜日

DV 無料相談

毎週月曜 午後 2 時から 4 時半

TEL 043-441-6014

NPO 法人

DV 被害者支援活動促進のための基金

編集後記

今年は年号が代わり新しい時代の幕開けとなりました。時代は刻々と変わっています。

電車の中で父親が子どもを抱っこひもで抱っこしているシーンを私は自分の子どもを育てるときに見かけることはありませんでした。男性も育児に参加するのはいつの間にか当たり前になってきました。「えっ?! あなた妻や子どもにそんなことしているの?」って。DV なんてありえない! という時代に早くなつてほしいものです。(M)



認定 NPO 法人 DV 被害者支援活動促進のための基金
NewsLetter vol.41 発行日 2019.12.17
E-mail:dvkikinn@nifty.com URL/http:// dvkikinn.a.la9.jp/

〒260-0013
千葉市中央区中央
3-17-2 ライオンビル 302
Tel 043-441-6014